

2025 SUPER GT RACE REPORT



SUPER GT 第8戦 モビリティリゾートもてぎ

11月2日 天候：曇り コースコンディション：ドライ

SUPER GT MOTEGI 300km RACE GRAND FINAL が11月1日・2日に栃木県・モビリティリゾートもてぎで開催された。全8戦で行われている2025年シーズンの同シリーズも、このレースが最終戦となる。

11月2日はウォームアップ走行と決勝が行われた。前日よりは雲が多いものの青空も見え、安定したドライコンディションの中で、すべてのスケジュールが消化された。11時30分から20分間行われたウォームアップ走行では、最初にベルトラン・バゲット選手がドライブ。計測2周目に1分40秒210でトップに立ち、さらに3周目には1分38秒223のタイムでトップを更新した。その後、平峰一貴選手が乗り込み、2周目に1分39秒950を記録してチェックカー。このセッションはトップで終えた。

13時のパレードラップスタートに続き、フォーメーションラップを経てレースがスタート。バゲット選手は得意のダッシュを見せ、1コーナーを3番手で通過。さらに1台をパスして、2番手でメインストレート前に戻ってきた。その後も安定したペースで2位を走行し、ハイペースでラップを重ねる。22周目にピットインし、平峰選手がドライブしてコースへ復帰。この時点で平峰選手は12位だったが、ここから着実にポジションを上げていき、38周目にトップ車両がピットインしたことで2位に浮上した。終盤、平峰選手はトップを走る#1 (TGR TEAM au TOM'S) に迫るペースで猛追。何度も仕掛けて前に出ようとトライしたが、惜しくもオーバーテイクはならず、わずか0.254秒差で2位チェックカーとなつた。しかしレース後の車検で不合格となり、失格となってしまった。



【コメント】

■ TRS IMPUL with SDG 平峰一貴選手

昨日出ていた問題も今朝には解消できていた、バゲットさんもウォームアップ走行から戻ってきて「クルマがすごく良い状態になっている」と言っていたので、決勝でも自信を持って乗り込みました。実際にクルマの状態はとても良く、積極的に攻めていました。なんとかトップに出ようとしたが、もう少し届きませんでしたね。うしろから#23が来ていて、3台でのトップ争いという形になりましたが、自分はトップに出るためにプッシュしましたし、当然うしろにも隙を見せないように、自信を持って攻め続けました。相手のクルマに誰が乗っているか、絶対に自分のポジションを譲らないという気持ちで攻めました。この週末はチームが素晴らしい仕事をしてくれて、自分たちの走りを強力に支えてくれました。車検落ちは残念なことですが、誰かに責任があるわけではありません。もちろんルールあってのスポーツですから良いことではないですが、リアのスキッドに関してはどうしようもない部分もありますし、これもレースの一部だと思います。素晴らしい戦いができたので、その自信を胸に、来年もチームと共に戦っていきたいと思います。

■ TRS IMPUL with SDG ベルトラン・バゲット選手

朝のウォームアップ走行を走り出してすぐ、エンジンとクルマのセットアップの両面で本当に良い方向に仕上がっていることを感じました。クルマのフィーリングはすごく良く、安定していてまったく問題もなく、レースに向けて自信を持てる状態でした。レース序盤のコーナーを抜けた後、ポジションを上げて2番手まで来たときはとてもエキサイティングでした。いいスタートが切れたと思います。1コーナーでは#23の外側から仕掛けでオーバーテイク。その後、目の前の#1と#38がかなり激しくバトルしていく、#38が少しワイドに膨らんだところで抜くことができました。その後は少し難しい状況でした。タイヤをケアしなければいけないと分かっていたので、ペースを抑えながら走行。数周後にはフロント左タイヤの摩耗が進み、グレイニング（さくられ摩耗）が出てきました。できる限りタイヤをマネージしようと努めましたが、それでも終盤のペースは悪くありませんでした。その状態でも2番手でクルマをカズキに渡すことができたので、とても満足しています。いいバトルができたし、楽しかったです。ありがとうございます。

■ TRS IMPUL with SDG 星野一樹監督

結果的にはレース後の車検に落ちてしまい、それは本当に残念ですが、二人のドライバーもチームも素晴らしい仕事をして、最終戦でこれだけの結果を出し、いいバトルも見せてくれました。本当に自分たちは良い戦いができたと感じていますし、チームを誇りに思います。今回の件は性能に関係のないリア側のスキッドによるもので、コースアウトからコースに戻る際や、縁石に乗ったことでスキッドが擦れてしまい、規定値を超てしまったのだと思います。性能に関わるのはフロント側のスキッドなので、車高を攻め過ぎたということではありません。数字は数字なので非常に残念ですが、仕方がありません。今回のレースで自分たちは、本当に“戦う力”を示せたと思いますし、その強さを見せられたことを誇りに思います。今シーズンも1年、多くの方々に応援いただき、戦うことが出来ました。ありがとうございます。最終戦で2位表彰台に上がり、そのままの結果を皆さんに報告できれば良かったのですが、そこは本当に申し訳なく思います。2位でゴールできたこの勢いをさらに力強いものとし、来シーズンも戦います。ありがとうございました。

2025 SUPER GT

第8戦 モビリティリゾートもてぎ Photo Gallery



2025 SUPER GT



第8戦 モビリティリゾートもてぎ 決勝 結果



■公認: 国際自動車連盟(FIA) / 一般社団法人日本自動車連盟(JAF) ■認定: 株式会社GTアソシエイション(GTA) ■後援: 経済産業省/国土交通省/自由民主党モータースポーツ振興議員連盟/茂木町



GT500 OFFICIAL RESULT

2025 / 11 / 2 17:35

Weather :Cloudy
Track :Dry

Pos.	No	Car/Team	Lap	TotalTime	Diff	Gap	DriverName	Lap	BestTime
1	1	au TOM'S GR Supra TGR TEAM au TOM'S	63	1:51'05.545			Sho Tsuboi Kenta Yamashita	22 41	1'38.999 1'40.424
2	23	MOTUL AUTECH Z NISMO	63	1:51'06.814	1.269	1.015	Katsumasa Chiyo Mitsunori Takaboshi	41 22	1'40.357 1'38.884
3	100	STANLEY CIVIC TYPE R-GT STANLEY TEAM KUNIMITSU	63	1:51'32.490	26.945	25.676	Naoki Yamamoto Tadasuke Makino	23 40	1'39.699 1'42.870
4	39	DENSO KOBELCO SARD GR Supra TGR TEAM SARD	63	1:51'32.912	27.367	0.422	Yuki Sekiguchi Sacha Fenestraz	26 37	1'39.736 1'39.811
5	37	Deloitte TOM'S GR Supra TGR TEAM Deloitte TOM'S	63	1:51'44.661	39.116	11.749	Ukyo Sasahara Giuliano Alesi	36 27	1'40.102 1'40.887
6	8	ARTA MUGEN CIVIC TYPE R-GT #8 ARTA	63	1:51'55.683	50.138	11.022	Tomoki Nojiri Nobuharu Matsushita	42 21	1'40.532 1'39.803
7	38	KeePer CERUMO GR Supra TGR TEAM KeePer CERUMO	63	1:52'07.066	1'01.521	11.383	Hiroaki Ishiura Toshiki Oyu	21 42	1'39.207 1'41.038
8	16	ARTA MUGEN CIVIC TYPE R-GT #16 ARTA	63	1:52'07.279	1'01.734	0.213	Hiroki Otsu Ren Sato	22 41	1'39.502 1'40.765
9	3	Niterra MOTUL Z NISMO NDDP	63	1:52'11.513	1'05.968	4.234	Daiki Sasaki Atsushi Miyake	21 42	1'39.669 1'41.179
*1	10	REALIZE CORPORATION ADVAN Z KONDO RACING	63	1:52'16.765	1'11.220	5.252	Tsugio Matsuda Teppei Natori	38 25	1'41.032 1'40.074
11	19	WedsSport ADVAN GR Supra TGR TEAM WedsSport BANDOH	63	1:52'21.153	1'15.608	4.388	Yuji Kunimoto Sena Sakaguchi	21 42	1'40.214 1'41.099
12	64	Modulo CIVIC TYPE R-GT Modulo Nakajima Racing	63	1:52'25.110	1'19.565	3.957	Takuya Izawa Riki Okusa	23 40	1'40.303 1'39.534
*3	13	17 Astemo CIVIC TYPE R-GT Astemo REAL RACING	63	1:52'32.884	1'27.339	7.774	Koudai Tsukakoshi Syun Koide	39 24	1'40.386 1'40.287
*2	14	14 ENEOS X PRIME GR Supra TGR TEAM ENEOS ROOKIE	63	1:53'04.082	1'58.537	31.198	Kazuya Oshima Nirei Fukuzumi	41 22	1'40.862 1'40.064
***** 以上完走(規定周回数 44周) *****									
*4	12	TRS IMPUL with SDG Z TEAM IMPUL		失格			Kazuki Hiramine Bertrand Baguette		

Fastest Lap No. 23 M. Takaboshi / MOTUL AUTECH Z 1'38.884 (3 / 63) 174.787 km/h

Start Time :13:07'23 Finish Time :14:58'28

FCY導入時刻 : ①13:19'19 (7Laps) ~13:22'54 (8Laps) ②14:44'12 (55Laps) ~14:45'34 (55Laps)

黒白旗提示:CarNo.39 Yuki Sekiguchi (13:44) (SpR13 1.b 「CarNo.24への接触」)

CarNo.14 Kazuya Oshima (14:37) (SpR13 1.a 「CarNo.17への接触」)

*1 CarNo.24 Teppei Natori (13:38) タイムペナルティ5秒(SpR13 1.a 「CarNo.37への接触」)[1:52'11.765 + 5sec]

*2 CarNo.14 Kazuya Oshima (14:51) 競技結果に40秒加算(SpR13 1.a 「CarNo.16への接触」)[1:52'24.082 + 40sec]

*3 CarNo.17 (15:32) 罰金 100,000円 (SpR28 13 「チェックカー後のコース上停止」)

*4 CarNo.12 (16:37) 失格 (テクニカルレギュレーション 3.22.4A 違反「SKID BLOCK/SKID-PAD 5mm以上」)